



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 美津濃株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8022 URL <https://corp.mizuno.com/jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 明人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 福本 大介 (TEL) 06-6614-8465
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	66,243	△22.5	△903	—	84	△97.9	125	△95.7
2020年3月期第2四半期	85,459	△1.7	4,204	19.7	4,012	15.7	2,902	21.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △356百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 2,226百万円(△17.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	4.93	—
2020年3月期第2四半期	114.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	149,509	98,386	65.6
2020年3月期	154,378	99,255	64.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 98,050百万円 2020年3月期 98,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

詳細については、本日(2020年11月6日)公表いたしました「業績予想並びに剰余金の配当(第2四半期末配当)及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	△11.6	1,500	△76.1	2,500	△58.8	1,500	△67.6	59.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細については、本日(2020年11月6日)公表いたしました「業績予想並びに剰余金の配当(第2四半期末配当)及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	26,578,243株	2020年3月期	26,578,243株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,056,772株	2020年3月期	1,113,562株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	25,491,374株	2020年3月期2Q	25,402,551株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き厳しい状況が継続する中、大きく制限されていた社会経済活動のレベルが段階的に引き上げられ、また、各種政策の効果もあって持ち直しの動きが見られました。世界経済も同様に、経済活動の再開が段階的に進められる中で景気に持ち直しの動きがみられましたが、感染症拡大のリスクもあり厳しい状況は継続すると見込まれます。

このような状況の中、当社グループは、個人消費の大幅な落ち込みやスポーツイベント・競技大会の開催中止や延期、直営店や運営施設の休業等の影響により大幅な減収となりました。損益も、仕入や経費の抑制に努めたものの大幅な減益となりました。

これらの結果、当社グループの経営成績は、売上高は、192億1千6百万円減収（前年同期比22.5%減）の662億4千3百万円となり、営業損失は9億3百万円（前年同期は42億4百万円の営業利益）となりました。経常利益は39億2千8百万円減益（前年同期比97.9%減）の8千4百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は27億7千6百万円減益（前年同期比95.7%減）の1億2千5百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本は、拡大しているワークビジネスは好調を維持したものの、野球やゴルフ、サッカーなどのスポーツ品販売事業は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛などによる個人消費の落ち込みや、スポーツイベント・競技大会の開催中止や延期などにより大幅な減収となりました。これまで堅調に推移していた自治体の指定管理施設の運営や工事、体育器具の販売を行うスポーツ施設サービス事業においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により運営施設が休館となったことなどにより減収となりました。

この結果、売上高は133億8千7百万円減収（前年同期比22.9%減）の451億7千6百万円、営業損失は11億6千2百万円（前年同期は25億7千2百万円の営業利益）となりました。

② 欧州

欧州も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。ゴルフクラブの販売はほぼ前年並みを維持しましたが、欧州各国通貨が下落したこともあり減収となりました。

この結果、売上高は11億3千1百万円減収（前年同期比14.5%減）の66億7千6百万円、営業損失は6千1百万円（前年同期は2億8千9百万円の営業利益）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における欧州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

英ポンド：135.00円（前年同期 136.84円）、ユーロ（欧州支店）：121.34円（前年同期 121.42円）、ユーロ（子会社）：119.82円（前年同期 124.50円）、ノルウェークローネ：11.25円（前年同期 12.79円）

③ 米州

米州は、堅調なスタートでしたが前四半期会計期間末から新型コロナウイルスの影響が顕著になり、ゴルフクラブの販売は健闘したものの減収となりました。なお、事務所移転による固定資産売却益5億6千8百万円を特別利益に計上しています。

この結果、売上高は19億9千2百万円減収（前年同期比19.2%減）の83億8千5百万円、営業利益は5億9千3百万円減益（前年同期比82.4%減）の1億2千6百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における米州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

米ドル：108.41円（前年同期 110.13円）、カナダドル：79.76円（前年同期 82.50円）

④ アジア・オセアニア

アジア・オセアニアは、特に韓国が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。他の拠点も影響を受けたことと、各国通貨の下落もあり減収となりました。

この結果、売上高は27億4百万円減収（前年同期比31.1%減）の60億4百万円、営業利益は4億4千1百万円減益（前年同期比70.7%減）の1億8千3百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間におけるアジア・オセアニア各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

台湾ドル：3.61円（前年同期 3.56円）、香港ドル：13.96円（前年同期 14.05円）、
 中国元：15.36円（前年同期 16.22円）、豪ドル：71.87円（前年同期 77.80円）、
 韓国ウォン（100ウォンあたり）：9.01円（前年同期 9.65円）、
 米ドル（シンガポール）：108.41円（前年同期 110.13円）

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ48億6千9百万円減少し、1,495億9百万円となりました。受取手形及び売掛金が116億9千4百万円減少した一方、現金及び預金が30億2千7百万円、商品及び製品が32億1千6百万円、それぞれ増加したことが主な要因です。

負債は、前連結会計年度末に比べ40億円減少し、511億2千2百万円となりました。支払手形及び買掛金が52億2千9百万円、未払金及び未払費用が8億3千8百万円それぞれ減少した一方、短期借入金が9億4千6百万円増加したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8億6千8百万円減少し、983億8千6百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.1%から65.6%へと1.5ポイント増加しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の経済動向は、新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き厳しい状況が継続する中、大きく制限されていた社会経済活動のレベルが段階的に引き上げられ、また、各種政策の効果もあって持ち直しの動きが見られました。世界経済も同様に、経済活動の再開が段階的に進められる中で景気に持ち直しの動きがみられましたが、感染症拡大のリスクもあり厳しい状況は継続すると見込まれます。

このような状況の中、当連結会計年度における連結業績見通しにつきましては、売上高1,500億円（前年同期比11.6%減）、営業利益は15億円（同76.1%減）、経常利益は25億円（同58.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は15億円（同67.6%減）を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,956	19,983
受取手形及び売掛金	39,210	27,516
商品及び製品	32,097	35,313
仕掛品	637	652
原材料及び貯蔵品	2,766	3,007
その他	4,572	4,346
貸倒引当金	△499	△534
流動資産合計	95,742	90,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,529	15,990
土地	15,985	16,306
その他（純額）	3,125	3,133
有形固定資産合計	35,640	35,430
無形固定資産		
のれん	2,008	2,149
その他	6,430	6,225
無形固定資産合計	8,439	8,375
投資その他の資産		
投資有価証券	5,712	6,157
繰延税金資産	4,579	4,444
退職給付に係る資産	2,000	2,541
その他	2,772	2,771
貸倒引当金	△510	△497
投資その他の資産合計	14,555	15,416
固定資産合計	58,635	59,222
資産合計	154,378	149,509

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,600	11,371
短期借入金	7,630	8,576
1年内返済予定の長期借入金	1,000	4,500
未払金及び未払費用	9,896	9,057
未払法人税等	879	333
返品調整引当金	431	395
その他	1,910	1,955
流動負債合計	38,349	36,190
固定負債		
長期借入金	8,331	6,852
繰延税金負債	1,823	1,636
再評価に係る繰延税金負債	2,296	2,296
債務保証損失引当金	76	143
退職給付に係る負債	508	292
資産除去債務	266	266
その他	3,470	3,443
固定負債合計	16,773	14,932
負債合計	55,122	51,122
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,137	26,137
資本剰余金	31,821	31,824
利益剰余金	41,311	40,798
自己株式	△2,158	△1,982
株主資本合計	97,111	96,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,315	1,509
繰延ヘッジ損益	224	△106
土地再評価差額金	29	29
為替換算調整勘定	797	346
退職給付に係る調整累計額	△594	△506
その他の包括利益累計額合計	1,771	1,273
非支配株主持分	372	335
純資産合計	99,255	98,386
負債純資産合計	154,378	149,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	85,459	66,243
売上原価	49,850	39,956
売上総利益	35,609	26,287
販売費及び一般管理費	31,405	27,190
営業利益又は営業損失(△)	4,204	△903
営業外収益		
受取利息	44	65
受取配当金	120	109
為替差益	—	223
受取保険金	151	0
助成金収入	—	815
その他	169	102
営業外収益合計	486	1,316
営業外費用		
支払利息	118	91
売上割引	113	125
為替差損	386	—
その他	60	111
営業外費用合計	678	328
経常利益	4,012	84
特別利益		
固定資産売却益	4	568
投資有価証券売却益	30	—
退職給付制度改定益	177	—
その他	—	48
特別利益合計	213	617
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	53	32
投資有価証券評価損	—	5
店舗休止等損失	—	※ 231
債務保証損失引当金繰入額	—	66
その他	—	0
特別損失合計	53	337
税金等調整前四半期純利益	4,173	364
法人税等	1,250	223
四半期純利益	2,922	140
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,902	125

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,922	140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	194
繰延ヘッジ損益	△110	△330
為替換算調整勘定	△756	△449
退職給付に係る調整額	200	88
その他の包括利益合計	△696	△497
四半期包括利益	2,226	△356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,219	△373
非支配株主に係る四半期包括利益	7	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社では、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症による当社グループ事業への影響は、地域や事業によってその影響や程度が異なるものの、概ね当連結会計年度末まで継続するとの仮定に基づき、会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症による影響は不確定要素が多いため、引き続き今後の動向を注視してまいります。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 店舗休止等損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、一部の直営店舗、運営及び運営受託しているスポーツ施設等の臨時休業を実施いたしました。当該臨時休業中に発生した固定費（人件費・地代家賃・減価償却費等）を店舗休止等損失として、特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	日本	欧州	米州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客に対する売上高	58,564	7,808	10,377	8,708	85,459
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,381	—	5	1,843	3,230
計	59,945	7,808	10,383	10,552	88,690
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,572	289	720	625	4,207

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,207
セグメント間取引消去及びその他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	4,204

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	日本	欧州	米州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客に対する売上高	45,176	6,676	8,385	6,004	66,243
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,177	—	13	1,798	2,988
計	46,353	6,676	8,398	7,802	69,231
セグメント利益	△1,162	△61	126	183	△914

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△914
セグメント間取引消去及びその他の調整額	10
四半期連結損益計算書の営業利益	△903